

子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)  
論文概要の和文様式

雑誌における論文タイトル:

Prenatal folic acid supplementation and autism spectrum disorder in 3-year-old offspring: The Japan Environment and Children's Study

和文タイトル:

妊婦の葉酸サプリメント摂取と3歳児の自閉症スペクトラム症の関連

ユニットセンター(UC)等名: 宮城ユニットセンター

サブユニットセンター(SUC)名:

発表雑誌名: The Journal of Maternal-Fetal & Neonatal Medicine

2021年: DOI: 10.1080/14767058.2021.2007238

筆頭著者名: 西郡 秀和

所属 UC 名: 宮城ユニットセンター

目的:

本研究では、妊婦(母親)の葉酸サプリメント摂取と子どもの自閉スペクトラム症の関連を検討した。

方法:

エコチル調査での妊婦(母親)のインタビュー調査の回答から、葉酸サプリメント摂取状況によって①妊娠判明前から摂取していた群(7,046組)、②妊娠判明後から摂取した群(29,984組)、③摂取していなかった群(59,901組)に分けた。生まれた子どもの3歳時点の自閉スペクトラム症の診断の有無を質問票で調査し、それらの関連について解析を行った。

結果:

対象となった親子 96,931 組のうち、361 人の子どもが3歳までに自閉スペクトラム症と診断された。多重ロジスティック回帰分析の結果、妊婦(母親)が葉酸サプリメントを摂取していなかった群と比較して妊娠判明前から摂取していた群の3歳児の自閉スペクトラム症の調整オッズ比は 1.189(95%信頼区間 0.819-1.727)、妊娠判明後から摂取した群では調整オッズ比は 1.072(95%信頼区間 0.840-1.368)であり、統計的な差はなかった。さらに、この結果は、食事からの葉酸摂取量を考慮しても変わらなかった。

考察(研究の限界を含める):

海外の研究では、妊婦(母親)が葉酸サプリメントを摂取していると、子どもの自閉スペクトラム症のリスクが低いという報告が散見されるが、一定の見解はない。本研究では、葉酸サプリメントの摂取と3歳児の自閉スペクトラム症には有意な関連はみられなかった。研究の限界として、葉酸サプリメントの摂取量摂取や頻度に関する情報がないことなどが挙げられる。

結論:

本研究では、母親の妊娠前、妊娠中の葉酸サプリメント摂取は、3歳児の自閉スペクトラム症と関連しなかった。